

活動名 忍者まちをはしる！三次の巻	団体名	NPO 法人三次おやこ劇場
	地域	広島県三次市
	代表者	理事長 花本 識吏
	支援金額	30 万円
活動概要		
<p>理屈抜きに子どもたちが大好きな「忍者ごっこあそび」をおとなも一緒に「忍者」に扮装し遊びあう。地域の歴史や特色で創作した三次のストーリーで、『忍者修行』など「忍者まちをはしる！三次の巻」と題し「忍者ごっこあそび」を展開する。「忍者」になりきり、子どもたちはもちろん、おとなもワクワクドキドキの、日常とはかけ離れた時間を真剣に遊び、商店街に「忍者」に扮装した子どもたちの歓声を響かせる。「忍者ごっこ」は子ども時代を忘れたおとなも一瞬にして子ども時代に戻ることができ、青少年理解の温かい一助となる。青少年健全育成に関わる団体や個人に広く呼びかけ、『三次忍者団』実行委員会に加わっていただき、『忍者まちをはしる！三次の巻』を実施することで青少年を取り巻く地域の縦横の関わりを深める。また、子ども時代の遊びが、人と人との繋がりを育み、生きる力を育むということを学び、今後の青少年健全育成の一助にするため、北島尚志氏(立教女学院短大講師、大妻女子大学講師)講演会を開催する。</p> <p>◆実施時期 2014年5月～2015年3月 実行委員会:子育てフリースペース KADOYA 講演会:三次市生涯学習センター 忍者まちをはしる！三次の巻:下新町商店街</p> <p>◆参加人数 実行委員会:7回 のべ56人 講演会:32人 忍者まちをはしる！三次の巻 :69人</p> <p style="text-align: right;">参加総人員:157名</p>		



黒マントに見つからないように猫に変身して、ニャーニャー鳴いている子ども達。

黒マント「いやに猫がたくさんいるようだが」
商店のおばさん「全部、うちで飼ってる猫です。」



最後に、忍者頭より、忍者修行修了の巻物をいただきました。



大人 VS 子どもの旗争奪、チャンバラ対決。
バッチリの作戦を立てた子ども達。
「絶対勝つぞ！エイエイオー！！」



三次に伝わる「いのものけ」の主人公平平太郎現る！
子ども達「今、何時ですか？」
平太郎(商店の方)「下新町で、ものけたいじ！！」
子ども達の探している道場主さまでした。

◆実施に伴う効果

幼児からおとなまで一緒に遊びあうというイベントを体験したことで、異年齢集団での活動こそが、人間形成に欠かせない視点であるということを実感できた。小さい子が小学生に自分が発見したことを一生懸命伝えている姿、大きい子が小さい子に教えてあげている姿、チャンバラ対決ではそれぞれにできること(大きい子は、大人と戦う、小さい子は旗を守る等)を考え、協力している姿に目頭が熱くなった。今の生活ではなかなか難しいが、ガキ大将を中心に野山を走り回っていたことが、子どもたちにとって人間力を形成する大切なことだったのだと改めて学べた。地域の方も、久しぶりに商店街に子ども達の声が響き渡り、活気づいたと大変喜んでくださった。来年は自分達の手で実施したいと言ってくださるなど、私達の活動の輪の広がりを感じられた。

◆苦労した点

青少年健全育成には、地域の温もりのあるまなざしが欠かせないと考え、そのために、実行委員会(三次忍者団)を立ち上げ、多くの方に実行委員になっていただき、活動の輪を広げたいと考えていたが、賛同者の輪を思っていたより広げられなかった。また、初めて商店街で実施したので、私達も直前までイベントの内容のイメージがつかめず、商店街の皆様への趣旨説明に苦労した。そのため十分な準備期間が取れず、丁寧な取り組みができなかったことを残念に思っている。

◆今後の課題・発展の方向性

今回の実施で、三次忍者団の掲げる「忍者遊びを通して、子どもの健全育成と地域の活性化につなげたい」ということが、具体的にイメージしていただけたと思う。実際、下新町商店街では、来年も地域で実施したいという声があがった。目標にしていた三次市青少年育成三次市民会議との連携はできていないが、新年度に向け、趣旨説明を行い、いずれは連携が取れたらと考えている。また、自治組織や商店街にも働きかけ、少しずつ忍者あそびの輪を広げていきたいと考えている。

◆活動を終えての感想・意見等

今回、商店街で実施したことで、多くの方の目に留まり、大きな反響があり、驚いた。また、下新町の商店街の皆さんが、短い準備期間にも関わらず、『出会えた証』(ボールペンを軸にお店の紙袋を巻き付け、巻物みたいなものを作成して下さったり、ミニチョコを「倉から出した 400 年前のだよ。でも、魔法をかけて、食べられるようにしておいたからね」とエピソードを考えて下さったり等々)を工夫を凝らして準備して下さり、嬉しく思った。子ども達が、顔を輝かせながら、これは〇〇だったんだよ～、と一生懸命説明してくれて、そんな姿を見るだけで、実施して良かったと思えた。本当に商店街の皆さんが魅力的な方々で、かつ子ども達を見守る眼差しの温かいこと！このイベントを通じて皆さんとお知り合いになれたことが、一番大きな収穫だと思った。人と人のつながりを実感できた素敵なイベントとなった。